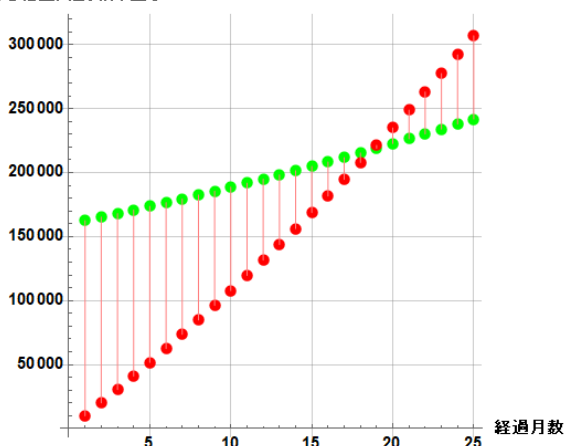


2020年10月中旬 白田由香利

コロナのロックダウン始まりの4月は、ともかく遠隔講義をきちんと出来るようにならねばと、それを最大の優先順位で行ってきた。前期の講義も無事に終わり、後期の講義も無事に進んでいる今日この頃は、それなりの安定期であり、有難いことだ。しかしここにきて、50肩で手が上がらなくなってしまった。若い皆さんは想像もできないだろうが、これが結構痛い。ロックダウンの始まりとともに、薄々とは感じていたのだが、自分の体どころではなく、全く気にしなかった。どうしてこうなったか理由は自分でよく分かっている。第1に、ロックダウンによる運動不足。第2に、遠隔講義の準備等のハードワークによるキーボードとマウスの使い過ぎ、第3に、コロナによるストレス。第2の原因は仕事なので、減らすこと能わず。さすれば、運動をして自分で解決していこうと覚悟を決める。自分の体の優先順位を上げよう。早速、朝起きてから猫のごはんの前に、太極拳一式と筋トレをすることとした。猫の餌等、後回しに決まっているだろう、という世間の常識と違い、この優先順位変更は私にとっては意識の大改革である。股割をしている脛に猫が体をこすりつけて、ご飯を催促されても、無視して続ける。虎の門病院の人間ドックの間診で聞かれたので「50肩が痛い」と言ったところ、整形外科を提案されたが、「自分で6か月かけて、こじらせたことだから、自分で習慣づけて何とかしよう」と思った。

逃げる借金, 追う積み立て



リボ払いの問題を見ていく。リボ払いのウィズイン方式では、毎月定額の返済をしていく。

問題：

16万円のハンドバッグをリボ払いで購入しました。年利率は20%で、毎月1万円を翌月から返済します。何か月目に完済できますか。複利計算は毎月行うとします。

で、逃げる借金を積立貯金で追いかけていく。右図に逃げる借金を緑点で、追う積み立てを赤点で描いた。図中、逃げる借金と、積立金の差額を赤線で示した。この長さが、現在残っている借金の額である。これが減少していき、0になったところが完済のポイントである。図から、完済できるのは19か月目であることが分かる。計算すると、18.76か月であった。

考え方は住宅ローンの問題と同じである。リボ払い

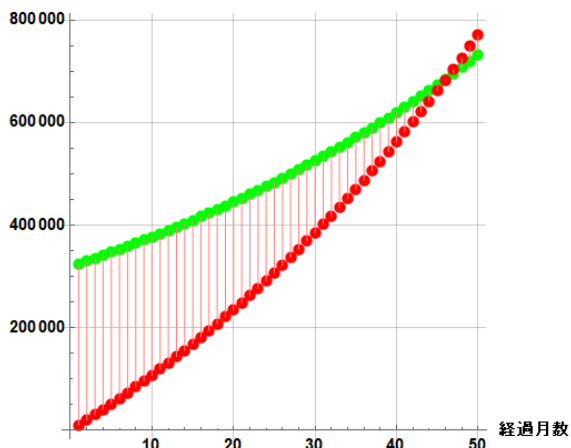
あることが分かる。計算すると、18.76か月であった。毎月1万の定額を返済するのだから、約19万円がお財布から出ていったことが分かる。最後の月の支払いは1万円未満である。

高額な買い物をするほど、利子も増加する。

問題2：

32万円のハンドバッグをリボ払いで購入しました。年利率は20%で、毎月1万円を翌月から返済します。何か月目に完済できますか。複利計算は毎月行うとします。

逃げる借金, 追う積み立て



答えは上図から分かるように 47 か月目である。計算すると、46.1 か月である。前問で 16 万の買い物で約 3 万の利子を払ったのに比較して、32 万の買い物で約 14 万の利子である。高額な買い物ほど、多額の利子となり、その分、返済が長くなることが分かる。

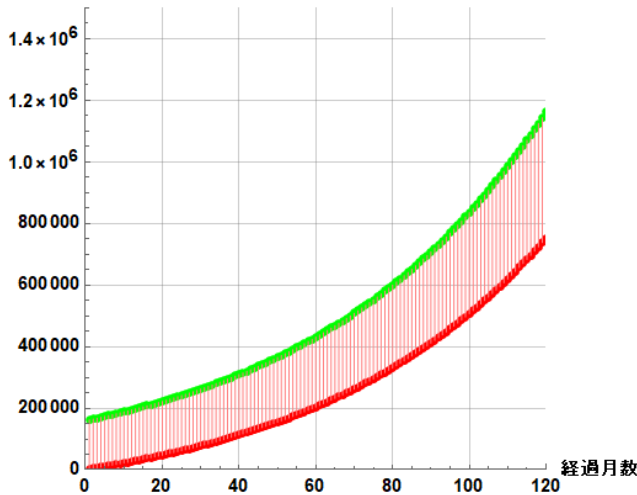
当然ながら、同じ 32 万の買い物でも、月の返済額を 2 倍の 2 万にすれば、19 か月で返済できる。右図参照。2 倍の額の借金をしても、返済額も 2 倍にすれば、同じ 19 か月で返済できる。

それでは、月の定額の返済額が少ない場合、何が起ころのだろうか？

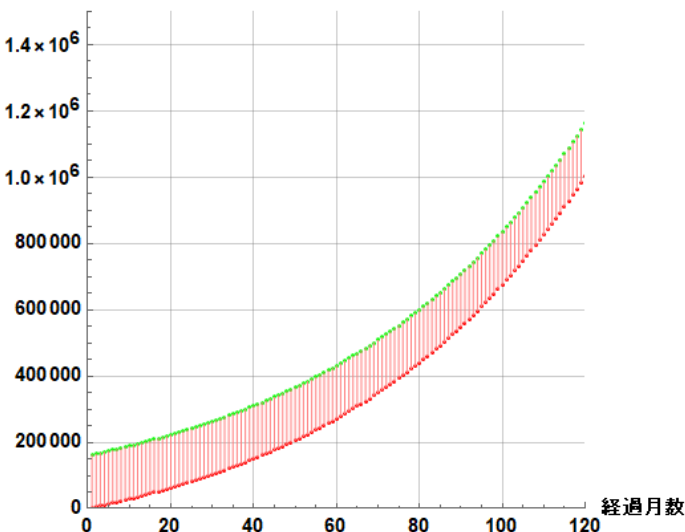
それは、返済しているにも拘わらず借金が増加していくのである。

以下の図は、年利率 20% で、16 万の借金をして、月 2000 円の返済をしたようすである。借金の額が

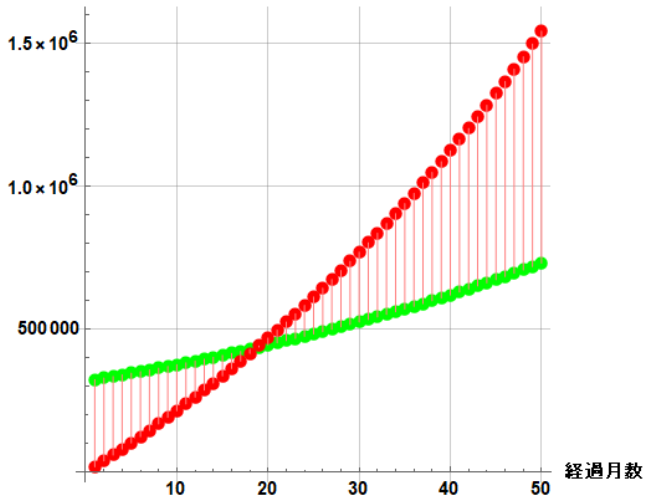
逃げる借金, 追う積み立て



逃げる借金, 追う積み立て



逃げる借金, 追う積み立て



次第に増加していき恐ろしい。永久に返済はできず、借金は増加する。

では、借金は増えもせず減りもしない返済額はいくらであろうか？

この問題では、2666.67 円となる。

解き方：

$$x = 160000 \times \frac{0.2}{12} = 2666.67$$

初めの 16 万にかかる利子分を返済すれば、いつまでも借金は増えないし、減りもしない。この時の状況を以下に示す。

10 年、120 か月が経過して、120 回返済をしても、借金は全く減らない。ずっとこのままである。

今回の計算で分かったことをまとめておく。

- リボ払いで高額な借金をするほど、払う利子が大きくなってしまう。
- 返済額が少額だと、利子分にもならず、借金は増加していく。

終わり

引用元： 死にもせぬ旅寝の果よ秋の暮 芭蕉